



11/10 南阿蘇米の品質確保へ 南阿蘇米を伊勢神宮へ奉納

主食となる米を奉納し、命の大事さと感謝の心を取り戻そうと、「南阿蘇米ブランド化実行委員会」（会長 後藤行男さん（喜多））が、今年収穫された「無農薬米」を三重県の伊勢神宮へ奉納するため、関係者22人が出席して出発神事が喜多公民館で行われました。

この取り組みは、同実行委員会が村の「頑張る地域支援補助金」を活用して、「無農薬米」のブランド化を目指しているもの。

神事終了後は、関係者が140キロの米を5箱に分けて、伊勢神宮に向けて発送しました。

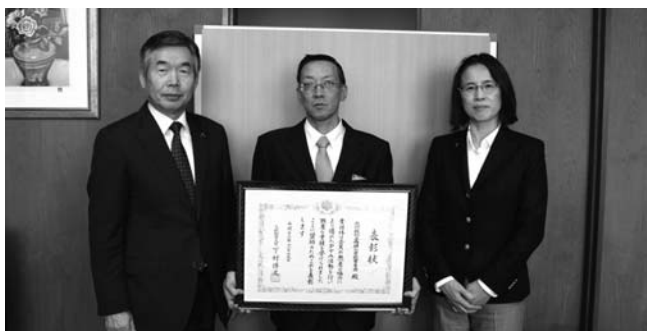


「無農薬米」を箱詰めする南阿蘇米ブランド化実行委員会の皆さん

11/20 子どもの健全育成活動に高い評価 両併小学校育友会

優秀な実績を上げている PTA 団体に贈られる平成26年度 PTA 年次表彰式（日本 PTA 全国協議会主催）が11月19日東京都のホテルニューオータニで行われ、両併小学校育友会が「優良 PTA 文部科学大臣賞」を受賞。その報告のため、久木野庁舎の市原副村長を訪れました。

この表彰は、読み聞かせ活動や、ものづくり体験活動など家庭・地域・学校が一体となった数々の活動が優良と認められてのこと。会長の辰巳精一さん（両併一）は、「表彰状には、両併小学校育友会と書いてありますが、両併の地域でいただいた賞であると思います。心より皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです」と話されました。



左から、市原副村長、会長の辰巳精一さん、校長の後藤利恵子さん

11/7 久木野支部 2 連覇 第39回阿蘇郡身体障害者体育大会

第39回阿蘇郡身体障害者体育大会が白水体育館で行われ、村身障福祉協会久木野支部が見事優勝し、2大会連続の優勝を勝ち取りました。

同大会は、身体障がい者の健康保持と生きがいを高め、お互いの親睦を図るとともに、ノーマライゼーションの理念のもと、地域社会の理解を深めることを目的として開催されているもの。

ボールリレー、輪投げ、ボーリングなどたくさんの競技があり、阿蘇郡市内から11チームが参加。本村からは各支部合計約60名が出場しました。



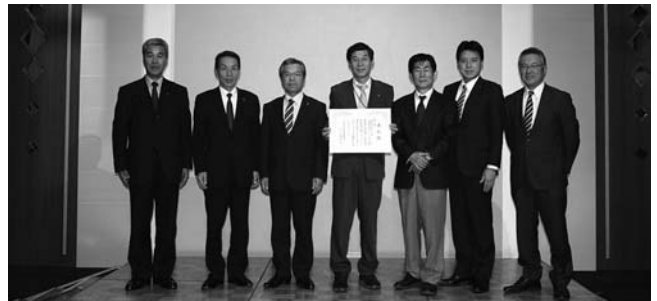
ボールリレーで活躍する久木野支部の選手（中央）

11/19 村民の皆さまに愛される広報紙を 町村議会広報紙コンクールで「特選」受賞

県内の町村議会が発行する広報紙を対象としたコンクール（県町村議会議長会主催）が行われ、本村の議会だより「すいげん」が最優秀賞の特選に選ばれ、その表彰式が、「メルパルク熊本」で行われました。

同コンクールは、編集の技術の向上を目的に、平成4年から隔年で開催されているもので、今回は県内の27町村が応募。

協坂春喜広報特別委員会委員長は、「これからも、議会活動に対する村民の皆さまの関心と理解を深めるため、読んでいただける広報、愛される議会広報を目指して努力していきたい」と、今後の意気込みを話されました。



表彰を受け、喜びの表情の広報特別委員会の皆さんと審査員（右から3人目）

11/23 かがやけ、オオルリシジミ！ 第2回全国子ども草原サミット

阿蘇市で開催された全国子ども草原サミットに白水小学校の3年生が参加し、草原環境学習で学んだことを劇にして発表しました。県外からの参加を含め5つの小学校が、それぞれに学んできたことを発表し、意見を交換しあう場となった今回のサミット。野焼きやオオルリシジミの生態の説明を盛り込んだ白水小学校の劇は、1人1人がはっきりと声を出し、とても楽しめたと会場からも好評でした。

劇でオオルリシジミ役をした木實直杜さんは、「緊張したけど、間違えずにできてよかった。草原の大切さを伝えられたと思う」と感想を述べていました。



いきいきとした表情で発表する白水小の児童

11/21 打楽器の音色に包まれて 久木野中学校芸術体験教室

生徒が生音楽に接することを目的として、「九州打楽器合奏団」が久木野中学校で公演し、全生徒と教師らが打楽器の演奏に触れ、音楽の楽しさを学びました。

生徒参加型のセッションでは、それぞれが思い思いの楽器を手にし、曲に合わせて奏でると、ひとつの音楽が完成。会場が一気に盛り上がりました。また、ボイスパーカッションでの共演でも生徒たちから笑顔があふれていました。

「今回の授業で自分なりに音楽を楽しめばいいのだと思いました。またいつの間にかみんなが笑顔になっていたので、音楽の力はすごいと実感しました」と生徒の一人が感想を綴りました。



参加型のセッションで盛り上がる生徒たち

12/10 地元の食材を生かして 県ペンション協会南阿蘇支部

県ペンション協会南阿蘇支部が、阿蘇の農家の方とのビジネスマッチングをかねた懇親会を、グリーンピア南阿蘇で開催しました。村内からは、ペンションのオーナー約20人と阿蘇全域の農家10軒が参加し、野菜や果物の説明や今度の取引のやり方などを個別に話し合う機会となりました。ペンションのオーナーはほとんどが県外からの移住者で、遠方から訪れる宿泊客に地元の生産物を、ペンションの食卓に提供していきたいという強い思いから、昨年12月に始まった事業で、今回が2回目となります。次回は来年初夏の時期に開催予定で、随時生産者を募集しています。



意見交換をするペンションオーナーと農家の皆さん

11/23 免の石を間近に眺められる公園が完成!! 免の石遠望所「鳥の小塚公園」開所・祈願祭

柿野山田牧野組合（組合長 甲斐民也さん（第七駐在））が、一般観光客がいつでも手軽に「免の石」を眺めることができる場所にしようと、免の石遠望所「鳥の小塚公園」を村の「頑張る地域支援事業」を活用して整備。その開所神事が行われました。

神事には、同牧野組合関係者など約80人が参加。村の新たな観光スポットとなるよう祈願しました。

神事後には、来春高校受験を迎える久木野中と長陽中の生徒とその保護者約30人が合格祈願の絵馬を奉納し、「免の石」ヘトレッキングを行いました。



「鳥の小塚公園」で、合格祈願の絵馬を奉納する中学生